

犬猫以外の哺乳類に関する飼養管理基準の検討に係る現地実態調査

結果概要

○現地実態調査実施状況

表 1 に示す施設等について現地実態調査を行った。

表 1 現地実態調査先

対象	現地実態調査先	実施状況等
1)犬猫以外の哺乳類を扱う ブリーダー	ブリーダー、販売店	実施済み・報告済み
2)犬猫以外の哺乳類を扱う 動物カフェ	動物カフェ	実施済み・報告済み
3)小型哺乳類等の触れ合い施設	株式会社 ZOOKISS	実施済み・報告済み
4)犬猫以外の哺乳類を扱う ブリーダー	アニマルハウスももれっぷ	実施済み、本日報告
5)犬猫以外の哺乳類を扱う 観光動物施設	施設 A	実施済み、本日報告
6)犬猫以外の哺乳類を扱う 観光動物施設	株式会社モンキーエンタープ ライズ おさるランド	実施済み、本日報告
7)犬猫以外の哺乳類を扱う 展示販売会	とんぶり市	実施済み、本日報告
8)犬猫以外の哺乳類を扱う 観光牧場	有限会社滝沢牧場	実施済み、本日報告
9)犬猫以外の哺乳類を扱う 卸売	浅田鳥獣貿易株式会社	実施済み、本日報告
10)犬猫以外の哺乳類を扱う 移動動物園	株式会社福田牧場	実施済み、本日報告
11)犬猫以外の哺乳類を扱う 展示販売会	展示販売会 A	実施済み

12)犬猫以外の哺乳類を扱う 展示販売会	展示販売会 B	実施済み
13)犬猫以外の哺乳類を扱う 移動動物園	移動動物園 A	実施済み
14) 犬猫以外の哺乳類を扱う ホームセンター	ホームセンター	実施済み

○犬猫以外の哺乳類に関する飼養管理基準について

1) 当該基準に記載すべき事項について

- ・ 飼育ケージの大きさ等を決めるのであれば、種類毎の行動様式及び成長段階などの生体の特性を考慮すべき。(展示販売会)
- ・ フクロモモンガは運動量確保のために 60cm 程度の高さが必要であり、他店では小さいケージいることもあるため、フクロモモンガについてはケージサイズを決めてほしい。(ブリーダー)
- ・ 業者によってはケージから出して販売しているため、これくらいの時間はケージに入れておかないといけないという基準があると良い。フクロモモンガは、昼間は寝ているのでお客様からの触りたいという要望があった時以外は休ませておくのが望ましい。(ブリーダー)
- ・ 飼育員数規定については、哺乳類は 1 人につき何頭と定めるべき。フクロモモンガの理想としては 3 人で 40 匹くらいまでかと思う。(ブリーダー)
- ・ 哺乳類は何か月、何グラムで売っていい等がはっきりするとよい。(ブリーダー)
- ・ 顧客と直接触れ合う時間が長いので、触れ合いの部分は基準を丁寧に作っていただけるとよい。(観光動物施設)
- ・ トレーニング方法に関しては日々実践と考慮を重ね、対象動物の生理生態を理解し、虐待にならないような方法を確立している。動物ショーは全て虐待であると一括りにせず、場合によっては試験や資格制度を設けることで、
- ・ 悪質な業者の規制になるのではないか。(観光動物施設)
- ・ 良いこと／悪いことが明確になった方が守りやすい。グレーゾーンをなくしていただいた方が運営しやすい。(観光動物施設)
- ・ 衛生状態が悪い施設、狭すぎる施設は良くない。(観光動物施設)
- ・ 国際的な IATA の規則に則って輸入・輸送しているので、そことの整合性が保

- てると納得がいくのではないか。(卸売)
- ワクチン接種はウシ、ウマでは具体化すべき。(観光牧場)
 - 肉牛であれば離乳まで親子を一緒にしておく等の規定はあり得ると思うが、親によっては育児放棄のような形で乳を与えないこともあることには考慮が必要。(観光牧場)
- 2) 当該基準に記載された場合に、動物取扱業者として支障が生じる内容について
- 観光動物施設それぞれで必要人数や掃除の方法も変わるため、一概にこの頭数に対して何人と決めてしまうと、施設によって問題が出てくる。(観光動物施設)
 - 1頭の飼育スペース等が決まり現行のサイズと合わない場合、大きい動物ほど建て替えのお金がかかる。何か助成金が出ればありがたい。また、すぐには変えられないため、猶予期間もほしい。(観光動物施設)
 - 定期報告届出書について、現状でも非常に扱う数量が多く、毎年非常に苦勞している。新しい飼養管理基準に伴い報告の細分化が行われたい事を願う。(卸売)
 - 人慣れの期間は、世話する人間や個体によって異なり、いつからいつまで社会化すべきというのは難しいと思う。(移動動物園)
 - ショーの種類、動物の種類によっても必要な休憩は違う。また、休憩の概念によっても変わる。(観光動物施設)
 - 動物種に合わせた触れ合い方がある。同じ動物種であってもリードだけで良いものもあれば、柵が必要なものもいるように種でも括りづらい部分があり、個体によっても違う。(観光動物施設)
 - 犬猫以外の哺乳類、爬虫類という非常に大きな区分である為、個々の習性が多岐にわたるばかりでなく、成長過程により最適な飼育管理方法が異なるものもある。急いで制定することによる弊害を危惧するので、しっかり時間をかけて議論して頂きたい。(卸売)